



|                |                |       |
|----------------|----------------|-------|
| ファームウェアバージョン : | V4.16.B020     |       |
| ハードウェアバージョン :  | DGS-3000-10L   | B1    |
|                | DGS-3000-20L   |       |
|                | DGS-3000-28L   |       |
|                | DGS-3000-28X   |       |
|                | DGS-3000-28LP  |       |
|                | DGS-3000-28XMP |       |
|                | DGS-3000-28XS  |       |
|                | DGS-3000-52L   | B1/B3 |
| DGS-3000-52X   |                |       |
| 発行日:           | 2023/4/27      |       |

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

## 目次 :

|                            |   |
|----------------------------|---|
| 変更履歴とシステム要件 :              | 2 |
| アップグレード時の注意事項 :            | 2 |
| アップグレード手順 :                | 2 |
| CLI (シリアルポート) を使用するアップグレード | 2 |
| Web GUI を使用するアップグレード       | 5 |
| 追加機能 :                     | 8 |
| MIB の変更点 :                 | 8 |
| コマンドラインインタフェースの変更点 :       | 8 |
| 修正した問題 :                   | 8 |
| 既知の問題 :                    | 9 |

## 変更履歴とシステム要件：

| ファームウェアバージョン     | リリース日付    | モデル            | ハードウェアバージョン |
|------------------|-----------|----------------|-------------|
| ランタイム：V4.16.B020 | 2023/4/27 | DGS-3000-10L   | B1          |
|                  |           | DGS-3000-20L   |             |
|                  |           | DGS-3000-28L   |             |
|                  |           | DGS-3000-28X   |             |
|                  |           | DGS-3000-28LP  |             |
|                  |           | DGS-3000-28XMP |             |
|                  |           | DGS-3000-28XS  |             |
|                  |           | DGS-3000-52L   |             |
|                  |           | DGS-3000-52X   | B1/B3       |

## アップグレード時の注意事項：

**ハードウェアバージョン：B3 をご利用の場合、R4.16.B007 より古いファームウェアにダウングレードすることはできませんのでご注意ください。**

## アップグレード手順：

アップグレードを行うには、[CLI\(シリアルポート\)](#)、もしくは [Web GUI](#) を使用してファームウェアのアップデートを行うことができます。

### CLI（シリアルポート）を使用するアップグレード

1. スイッチの RS-232 シリアルポート（コンソールポート）と PC を接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。（本手順書ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。）

- ボーレート：115200
- データビット：8
- パリティ：none
- ストップビット：1
- フロー制御：none

2. 接続が正常に行われると、ユーザ名とパスワードの入力を求められます。

※初期状態では管理者のユーザ名及びパスワードは、初期状態では登録されていません。  
何も入力せずに「enter」キーを2回押し、ログインします。

3. ログイン後下記のコマンドを使用し、ファームウェアのアップデートを行います。

| コマンド  | 説明                        |
|---|---------------------------|
| download [ firmware_fromTFTP <ipaddr><br>src_file <path_filename 64> dest_file <<br>path_filename 64> } ] | スイッチにファームウェアをダウンロードします。   |
| config firmware image <path_filename64><br>boot_up  | Boot up イメージファイルを変更します。   |
| reboot  | スイッチをリブートします。             |
| show switch   | 現在のブートイメージと設定ファイル名を表示します。 |

※ CLI コマンドの詳細は CLI マニュアルを参照下さい。

以下の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

例:

1. ファームウェアを本製品にダウンロードします。

```
DGS-3000-20L:admin#download firmware_fromTFTP 10.90.90.100 src_file DGS3000_Bx_FW4_16_B020.had
dest_file DGS3000_Bx_FW4_16_B020.had
```

```
Command: download firmware_fromTFTP 10.90.90.100 src_file DGS3000_Bx_FW4_16_B020.had dest_file
DGS3000_Bx_FW4_16_B020.had
```

```
Connecting to server..... Done.
```

```
Download firmware..... Done. Do not power off!
```

```
Please wait, programming flash..... Done.
```

```
Success.
```

2. ダウンロードしたファームウェアをブートアップ時に使用するファイルとして設定します。

```
DGS-3000-20L:admin#config firmware image c:/DGS3000_Bx_FW4_16_B020.had boot_up
```

```
Command: config firmware image c:/ DGS3000_Bx_FW4_16_B020.had boot_up
```

```
Success.
```

3. スイッチをリブートします。

```
DGS-3000-20L:admin#reboot
```

```
Are you sure you want to proceed with the system reboot?(y/n) y
```

**注意：スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。**

#### 4. 再起動後、ファームウェアバージョンを確認します。

DGS-3000-20L:admin#**show switch**

Command: show switch

```

Device Type           : DGS-3000-20L Gigabit Ethernet Switch
MAC Address           : xx-xx-xx-xx-xx-xx
IP Address            : 10.90.90.90 (Manual)
VLAN Name             : default
Subnet Mask           : 255.0.0.0
Default Gateway       : 0.0.0.0
Boot PROM Version     : Build 3.00.001
Firmware Version      : Build 4.16.B020
Hardware Version      : B1
Serial Number         : xxxxxxxxxxxx
System Name           :
System Location       :
System Uptime         : 0 days, 0 hours, 0 minutes, 48 seconds
System Contact        :
Spanning Tree         : Disabled
GVRP                  : Disabled
IGMP Snooping         : Disabled
MLD Snooping          : Disabled
VLAN Trunk            : Disabled
Telnet                : Enabled (TCP 23)
Web                   : Enabled (TCP 80)
SNMP                  : Disabled
SSL Status            : Disabled
SSH Status            : Disabled
802.1X                : Disabled
Jumbo Frame           : Disabled
CLI Paging            : Enabled
MAC Notification      : Disabled
Port Mirror           : Disabled
SNTP                  : Disabled
HOL Prevention State  : Enabled
Syslog Global State   : Disabled
Single IP Management  : Disabled
Password Encryption Status : Disabled
DNS Resolver          : Disabled

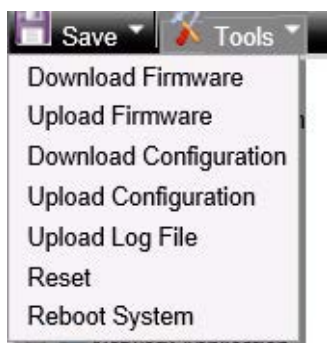
```

## Web GUI を使用するアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。  
デフォルトのシステム IP アドレスは 10.90.90.90 です。
3. PC 上で TFTP サーバを有効にします。  
(必ず TFTP サーバをご使用の PC にインストールを行っておいてください。)
4. お客様の PC から RJ45 ネットワークケーブル経由でスイッチにアクセスできることを確認し、Web 管理画面からログインしてください。

※管理者のユーザ名とパスワードを入力は、初期状態では登録されていません。  
「空白」でログインを行ってください。

5. スwitchのファームウェア更新を行うには、**Tools> Download Firmware**の順にクリックします。



6. ファームウェアダウンロードの設定を行います。  
ダウンロードの方法は、「TFTP」「FTP」「HTTP」のいずれかを選択できます。

### <TFTP 経由でダウンロードを行う場合>

- ① 「Download Firmware From TFTP」にチェックをいれます。
- ② 以下の画面で必要項目を入力します。

A screenshot of the 'Download Firmware' configuration page. At the top, there are three radio buttons: 'Download Firmware From TFTP' (selected), 'Download Firmware From FTP', and 'Download Firmware From HTTP'. Below these, there are input fields for 'TFTP Server IP', 'Source File', and 'Destination File'. To the right of the 'TFTP Server IP' field, there are three radio buttons: 'IPv4' (selected), 'IPv6', and 'Domain Name'. A 'Download' button is located at the bottom right of the form.

TFTP Server IP : TFTP サーバの IP アドレスを入力します。

Source File : ダウンロードするファームウェアのファイル名を入力します。

Destination File : ダウンロード後の保存場所とファイル名を入力します。

(例 : c:/DGS3000\_Bx\_FW4\_16\_B020had)

**<FTP 経由でダウンロードを行う場合>**

- ① 「Download Firmware From FTP」にチェックをいれます。
- ② 以下の画面で必要項目を入力します。

The screenshot shows a web form titled "Download Firmware". It has three radio buttons: "Download Firmware From TFTP", "Download Firmware From FTP" (which is selected), and "Download Firmware From HTTP". Below the radio buttons are several input fields: "FTP Server IP:", "User Name:", "Password:", "Tcp Port (1-65535):", "Source File:", and "Destination File:". There is also a checkbox labeled "Boot Up" and a "Download" button at the bottom right.

FTP Server IP : FTP サーバの IP アドレスを入力します。

User Name : FTP サーバのユーザ名を入力します。

Password : FTP サーバのパスワードを入力します。

Tcp Port (1-65535) : TCP ポートの番号を入力します。

Source File : ダウンロードするファームウェアのパスとファイル名を入力します。

Destination File : ダウンロード後の保存場所とファイル名を入力します。

(例 : c:/DGS3000\_Bx\_FW4\_16\_B020.had)

※ブートアップファイルに指定する場合は、「Boot Up」にチェックをいれます。

**<HTTP 経由でダウンロードを行う場合>**

- ① 「Download Firmware From HTTP」にチェックをいれます。
- ② 以下の画面で必要項目を入力します。

The screenshot shows a web form titled "Download Firmware". It has three radio buttons: "Download Firmware From TFTP", "Download Firmware From FTP", and "Download Firmware From HTTP" (which is selected). Below the radio buttons are two input fields: "Destination File:" and "Source File:". The "Source File" field has a button labeled "ファイルを選択" (Select File) and a text label "選択されていません" (Not selected). There is also a "Download" button at the bottom right.

Destination File : ダウンロード後の保存場所とファイル名を入力します。

(例 : c:/DGS3000\_Bx\_FW4\_16\_B020.had)

Source File : 「ファイルを選択」をクリックして、ダウンロードするファームウェアを選択します。

**7. 「Download」をクリックします。**

※「Download」ボタンをクリックするとダウンロードが開始されますが、ステータス表示画面に遷移するまで数十秒程度時間を要する場合があります。そのままお待ちください。

**8. ステータス表示が 100%になり、ダウンロードが完了するまでお待ちください。**

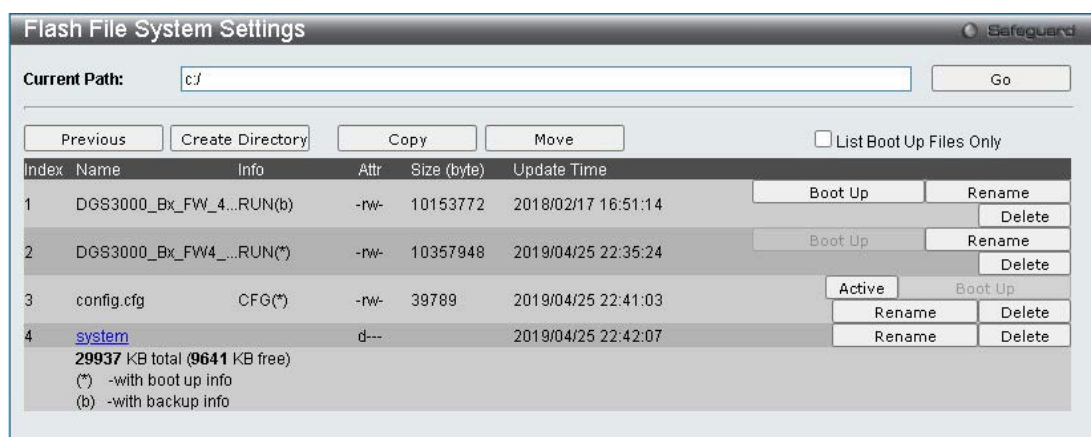


9. ダウンロードしたファームウェアを、次回起動時のブートアップファイルに指定します。  
 ※FTP サーバ経由でダウンロードする際に、「Boot Up」にチェックをつけた場合は作業不要です。

- ① 「Network Application」 > 「Flash File System Settings」の順でメニューをクリックします。
- ② 「Root」欄の「C:」をクリックします。  
 または「Current Path:」に「C:/」と入力→「Go」をクリックします。



- ③ ブートアップファイルに指定するファイルの「Boot Up」をクリックします。



※Info 欄の \* は、現在ブートアップファイルに指定されていることを表します。

- ④ ブートファイルの指定に成功すると成功を通知する画面が表示されるので、「OK」をクリックします。

## 10. スイッチのリブートを行います。

- ① 「Tools」 > 「Reboot System」の順でメニューをクリックします。
- ② 「Do you want to save the settings ?」の「Yes」にチェックをいれ、「Reboot」をクリックします。

**注意: スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。**

11. 再起動完了後にログインし、「Device Information」画面でファームウェアがアップデートされたことを確認します。

## 追加機能：

| ファームウェアバージョン | 追加機能 |
|--------------|------|
| V4.16.B020   | 特になし |

## MIB の変更点：

| ファームウェアバージョン | 変更点  |
|--------------|------|
| V4.16.B020   | 特になし |

## コマンドラインインタフェースの変更点：

| ファームウェアバージョン | 変更点  |
|--------------|------|
| V4.16.B020   | 特になし |

## 修正した問題：

| ファームウェアバージョン | 修正した問題点  |
|--------------|--|
| V4.16.B020   | <ol style="list-style-type: none"> <li>ERPS の状態が Protection から Idle に戻った際に通信できない状態になる問題を修正致しました。</li> <li>DGS-3000 が DHCP で IP を取得する場合、外部の DHCP サーバが送信した 1 つの DHCP パケットを 2 つにして DHCP クライアントに送信してしまう問題を修正致しました。</li> <li>DGS-712 の接続の問題を修正いたしました。</li> <li>SNTP のタイムレンジ機能が動作しなくなる問題を修正致しました。</li> <li>Web GUI 画面において、ACL プロファイルの 2 ページ目以降を編集できない問題を修正致しました。</li> <li>DHCP サーバ設定の除外 IP アドレスとして、第四オクテットが 254 の IP アドレスを設定できない問題を修正致しました。</li> <li>Web GUI ログイン時のパスワード情報が、設定のバックアップ/リストア時に反映されない問題を修正致しました。</li> <li>適切な IP アドレスが DHCP プールのデフォルトゲートウェイとして受け入れられない問題を修正致しました。</li> <li>NTP サーバ機能から応答がない場合でも NTP ステータスが「Synchronized」と表示される問題を修正致しました。</li> <li>スタティックリンクアグリゲーション設定を使用時に DGS-3000 をリブートすると、リンクアップしなくなる問題を修正いたしました。</li> <li>show config current_config コマンドを実行した際に、一部の情報が正しく表示されない問題を修正致しました。</li> </ol> |



## 既知の問題：

| ファームウェアバージョン | 既知の問題   |
|--------------|---|
| V4.16.B020   | <ol style="list-style-type: none"> <li>802.1X の機能において、Local DB を指定した場合、EAP-MD5 のみをサポートします。(制限事項)</li> <li>Time Range を PD Alive と併用した場合、PD Alive が機能しない問題。(制限事項)</li> <li>L3 NLB の設定を行った場合、該当 VLAN 内でフラッディングする問題。(制限事項)</li> <li>パケット統計情報の制限 (制限事項) <ol style="list-style-type: none"> <li>受信パケットサイズが 1536Bytes を超える場合であっても 1536Bytes として表示される</li> <li>受信パケットサイズが 1518~1536Btes の場合、Oversize の数値が増加し、それより大きい場合は Drop Pkts の数値が増加する</li> </ol> </li> <li>IPv6 に関する H/W Flow cache の保持時間が短い問題。(制限事項)</li> <li>Host Based の MAC ベースアクセスコントロールにおいて、Guest VLAN 使用時、IP Broadcast 以外の Packet 契機による認証済みの MAC アドレスのポート間の移動が不可となる問題。(制限事項)</li> <li>NTP サーバ機能について、経路に従ってソース IP が決定されるため、構成によってはクライアントが同期に失敗する場合がある問題。(制限事項)</li> </ol> |

**Copyright 2006-2023 D-Link Japan K.K.**